

乳酸アシドーシスとは

血液中の乳酸がふえて酸性になった状態です。まれな副作用ですが、治療が必要な状態です。特に肝臓や腎臓、心臓に病気のある方、高齢者の方で起きやすいとされています。右の症状が著しい時、あるいは持続する時はお薬の服用をいったんやめ、すぐに主治医または薬剤師にご連絡ください。

吐き気、嘔吐

腹痛、下痢

深く大きい呼吸

手足のふるえ

乳酸アシドーシスを起こさないためには

- 肝臓や腎臓、心臓、肺に病気のある方、透析を受けている方、乳酸アシドーシスをおこしたことがある方は主治医に相談してください。
- お酒を飲み過ぎないようにしてください。
- 造影剤を使うレントゲン撮影をする時は事前に主治医に相談してください。
- 下痢、嘔吐等の胃腸障害のある時、脱水状態の時は、お薬の服用をやめ、主治医に相談してください。

わからないことがありましたら、主治医または薬剤師におたずねください。



2021年6月作成
N202100311

中面をご覧ください ➡

乳酸アシドーシスとは

血液中の乳酸がふえて酸性になった状態です。まれな副作用ですが、治療が必要な状態です。特に肝臓や腎臓、心臓に病気のある方、高齢者の方で起きやすいとされています。右の症状が著しい時、あるいは持続する時はお薬の服用をいったんやめ、すぐに主治医または薬剤師にご連絡ください。

吐き気、嘔吐

腹痛、下痢

深く大きい呼吸

手足のふるえ

乳酸アシドーシスを起こさないためには

- 肝臓や腎臓、心臓、肺に病気のある方、透析を受けている方、乳酸アシドーシスをおこしたことがある方は主治医に相談してください。
- お酒を飲み過ぎないようにしてください。
- 造影剤を使うレントゲン撮影をする時は事前に主治医に相談してください。
- 下痢、嘔吐等の胃腸障害のある時、脱水状態の時は、お薬の服用をやめ、主治医に相談してください。

わからないことがありましたら、主治医または薬剤師におたずねください。



2021年6月作成
N202100311

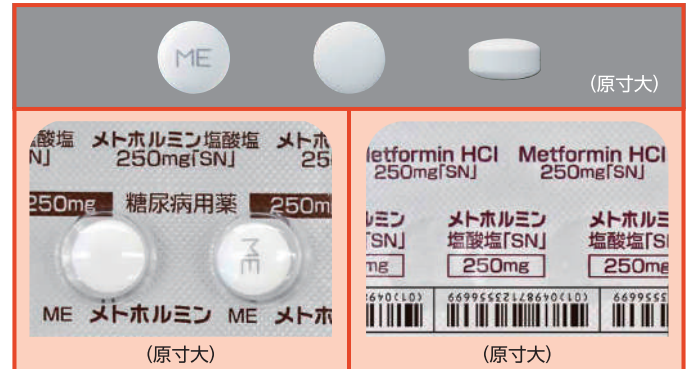
中面をご覧ください ➡

メトホルミン塩酸塩錠250mg「SN」を服用される患者さんへ

このお薬は血糖(血液中の糖分)を下げる糖尿病の治療薬です。お飲みになる前に必ずお読みください。

お薬の服用方法

- 食後に服用してください。
- 飲み忘れた時は、次の服用の時間に1回分を飲んでください。絶対に2回分を一度に飲んではいけません。
- 食事をとれなかった場合の服用方法については、主治医または薬剤師に相談してください。



服用を始めてからしばらくの間は消化器症状(嘔吐、下痢、便秘等)がみられることがありますが、服用を続けるうちに徐々におさまります。少し様子を見て、おさまらないようであれば主治医または薬剤師に相談してください。

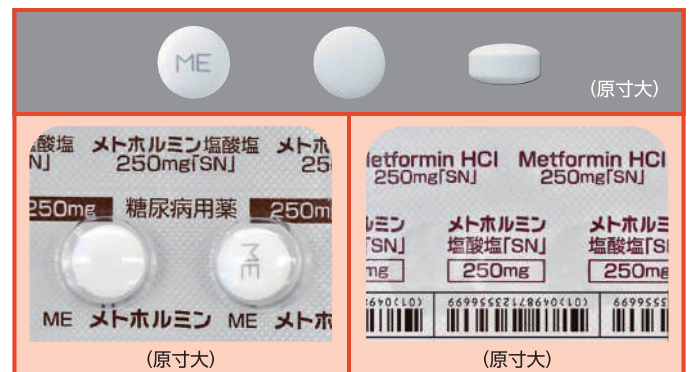
また、低血糖症状や、まれに乳酸アシドーシスを起こすことがあります。

メトホルミン塩酸塩錠250mg「SN」を服用される患者さんへ

このお薬は血糖(血液中の糖分)を下げる糖尿病の治療薬です。お飲みになる前に必ずお読みください。

お薬の服用方法

- 食後に服用してください。
- 飲み忘れた時は、次の服用の時間に1回分を飲んでください。絶対に2回分を一度に飲んではいけません。
- 食事をとれなかった場合の服用方法については、主治医または薬剤師に相談してください。



服用を始めてからしばらくの間は消化器症状(嘔吐、下痢、便秘等)がみられることがありますが、服用を続けるうちに徐々におさまります。少し様子を見て、おさまらないようであれば主治医または薬剤師に相談してください。

また、低血糖症状や、まれに乳酸アシドーシスを起こすことがあります。

中面をご覧ください ➡

低血糖症状とは

この注意は必ず家族やまわりの方にも
知らせておいてください

血液中の糖分が少なくなりすぎた状態で、強い空腹感、脱力感、冷や汗、動悸、手足のふるえ、眼のちらつき等が起こったり、また頭が痛かったり、ぼんやりしたり、ふらついたり、いつもと人柄の違ったような異常な行動をとることもあります。

激しい場合には、けいれんを起こしたり意識を失うこともあります。空腹時に起こりやすく、食べ物をとることで良くなるのが特徴です。



低血糖症状とは

この注意は必ず家族やまわりの方にも
知らせておいてください

血液中の糖分が少なくなりすぎた状態で、強い空腹感、脱力感、冷や汗、動悸、手足のふるえ、眼のちらつき等が起こったり、また頭が痛かったり、ぼんやりしたり、ふらついたり、いつもと人柄の違ったような異常な行動をとることもあります。

激しい場合には、けいれんを起こしたり意識を失うこともあります。空腹時に起こりやすく、食べ物をとることで良くなるのが特徴です。



低血糖症状が起こったら

- 低血糖症状は危険な状態ですから、軽いうちに治してしまわなければなりません。そのため、**早めに糖分(砂糖、ブドウ糖など)をとってください**。日頃から糖分を持ち歩き、その場でとれるようにしておくことが必要です。ただし、 α -グルコシダーゼ阻害剤(ボグリポース、アカルボース、ミグリトールなど)を服用している場合は、必ずブドウ糖をおとりください。
- 低血糖症状を起こした場合は、必ず早めに主治医に報告してください。

低血糖を起こさないために

- お薬の量や回数は主治医の指導を正しく守ってください。
- 食事をみだりに減らしたり、抜いたりしないよう食事療法はきちんと守ることが大切です。お酒の飲みすぎ、激しい運動、下痢などは低血糖を起こしやすいので注意してください。
- お薬の中には、いっしょに服用すると低血糖を起こしやすいものがあります。別のお薬を併用する場合には、主治医または薬剤師に相談してください。

車の運転や高所での作業など、危険を伴う作業を行うときは、低血糖による事故に注意してください。

低血糖症状が起こったら

- 低血糖症状は危険な状態ですから、軽いうちに治してしまわなければなりません。そのため、**早めに糖分(砂糖、ブドウ糖など)をとってください**。日頃から糖分を持ち歩き、その場でとれるようにしておくことが必要です。ただし、 α -グルコシダーゼ阻害剤(ボグリポース、アカルボース、ミグリトールなど)を服用している場合は、必ずブドウ糖をおとりください。
- 低血糖症状を起こした場合は、必ず早めに主治医に報告してください。

低血糖を起こさないために

- お薬の量や回数は主治医の指導を正しく守ってください。
- 食事をみだりに減らしたり、抜いたりしないよう食事療法はきちんと守ることが大切です。お酒の飲みすぎ、激しい運動、下痢などは低血糖を起こしやすいので注意してください。
- お薬の中には、いっしょに服用すると低血糖を起こしやすいものがあります。別のお薬を併用する場合には、主治医または薬剤師に相談してください。

車の運転や高所での作業など、危険を伴う作業を行うときは、低血糖による事故に注意してください。